

6. 企業はCO2削減、或いは環境配慮技術の開発に、資源投入を含め大きな努力を行いつつ、一方でその事業化には、企業としてのリスクをかけている
7. 原発なしの「6%削減」は極めて高い目標である
8. 技術革新必須、と誰でも言うが、研究者としては軽々に約束できるものではない
9. CO2排出削減が困難だからといってそれを海外移転するだけでは、地球全体として問題を解決したことにはならない